



発行責任者  
隠岐広域連立  
隠岐病院長  
西郷町城北町 355



汚すことな  
く、より良  
い  
都万村の医  
療」を指さ  
なければと考

本年四月から当院内科医長加藤一朗先生、塚本織恵先生が都万及び中村の診療所に派遣されました。雰囲気にもなれた診療室より今後の抱負や近況について述べていただきました。

都万村診療所発!

地域医療の大切さ!

加藤 一朗

本年四月より都万村診療所勤務となり早三ヶ月が過ぎました。これまで島根県立中央病院、隠岐病院と病院の中でしか仕事をしていませんでしたので、診療所勤務となつてから初めて往診に出かけたり、老人ホームで診察をしたり、学校健診をしたりなど、都万村の皆様には御迷惑をお掛けしていることと思います。少しでも住民の方々の御期待に答えるよう頑張りますので、今後とも宜しくお願い致します。



スタッフの皆さんと! 加藤医師(前列左)

スタッフの皆さんの努力により築き上げられたもの(ソフト)を

これまで健康教室は保健センターとともに各地区で行われてきました。禁煙促進と救急蘇生法普及を考えています。四月から都万村役場が分煙となりましたが、今後禁煙の講習会等開催してタバコの害について住民の方々に知ってもらい、タバコをやめたいけどなかなかやめられない人のために禁煙外来を設けたりと考えています。又、救急蘇生法は本年度から一部変更になったこと、西郷から救急車を呼んでも十五分以上かかることから、一人でも多くの都万村の住民の方々に蘇生法を学んでもらい助かる命を救おうと考えました。とりあえず六月には隠岐島

消防署の救急隊の御協力により計六回救急蘇生法講習会を開き、約七十名の方に受講してもらいました。今後も講習会開催を予定していますので、希望の方は都万村診療所加藤又は隠岐島消防署へ御連絡下さい。



さて、都万村は自然が豊かでアウトドアが好きな私(と家族)は水を得た魚のように都万村の生活を楽しんでいきます。天気の良い朝に子供を自転車に乗せサイクリングをする姿が、すでに村では有名になつていようです。また六月二十三日には全隠岐相撲大会にも参加させてもらいましたが、その二週間前からの日々の練習ではやさしく、時には厳しく指導してもらい良い経験になりました。大会当日はあつけなく負けてしまいました。が、試合に勝てるまでは都万村から離れられることは出来無さそう。今後は夏のトライアスロン大会に向けて自転車、また仕事では往診車で都万村を走り回るとは思いますが、今後とも宜しくお願い致します。

中村診療所発!

いんにちわあ〜



(^^)

塚本織恵29歳独身です

塚本 織恵

鳥根県邑智郡邑智町生まれの松江育ち。女で「医者」をしちよつと、「優秀だねえ」と言われることが度々あるけど、私ばかりの劣等生です。医者になつたのも、高校時代の担任の先生に「お前は馬鹿だけん医学部に合格するわけがないだろ〜」って言われ、意地になつて医学部受けたつて感じ。要は負けず嫌いの劣等生ですかねえ。(笑)

塚本はズボラで男っぽいし掃除は下手だし 料理も下手だし(大学時代は寮食堂の食事・研修医時代はコンビニ弁当・隠岐病院勤務中は病院食を食べ続け、家でご飯を炊くのは年に三回くらい)。こんな塚本が中村で楽しく過ごせちよるのには、本当に周りの皆さんのお陰です。



女性4人で頑張っています 塚本医師(右から2番目)

私、塚本のある一週間をちょっとご紹介しますね。

月曜日：、毎週月曜日は他の曜日と比べ患者さんが多いんですよ。



「ひえ〜、何分患者さんを待たせてしまつちよるんだろ〜」と、時計を見てハラハラしながら診察。(月曜日は、診療所の様子をみてからお出かけ頂けると有難いです)夜はたいいてい「水戸黄門」見て笑つちよつかな〜。



火曜日：、お魚をもらいました。魚をさばくなんて何年ぶりだろ〜と思いつつ、魚と悪戦苦闘!なんとか刺身らしい形になつてくれて一安心。見た目はどうあれ、おいしいおいしい。

水曜日：、午後からは隠岐病院で大腸カメラ検査。夜は、「私もそろそろいい歳になつてきたことだし、幸せな結婚ってこういうのもいいかもしれんなあ」なあんて考えながら、某テレビドラマを見て涙。



木曜日：、午前中は隠岐病院で胃カメラ・胃透視検査。(基本健診を受けていない中村の皆さん、面倒臭がらずに年一回は胃と大腸の検査をしてくださいな〜)晩御飯、これまた頂いた卵で作ったオムライスを食べべちよつたら、なんとまあ月が明るいこと。蛍を見に銚子ダムまでドライブ!

金曜日：、予防接種。白衣を着ちよる私を見て、幼児たちが大泣きだあ。「ああ、今日もまた子供たちに嫌われてしまつた。よ〜し、夜は友達と飲み会にすつか。

土曜日・日曜日：、土曜は焼き牡蠣会、二日酔いの頭を必死に起こして、苦手な掃除・洗濯。畑のトマトちゃんも赤くなつてきたぞ。おつそうだ、今週パチンコに行つちよらんじやないか、と思つて午後からパチンコ。ああ、バンドの練習もせねば。以上塚本の一週間でした。中村での生活を満喫しています。こんなズボラな私ですが、見かけたなら声を掛けてください。料理も教えて(作つて?)もらえるところうれしいです。

中村診療所発!

いんにちわあ〜



(^^)

塚本織恵29歳独身です

塚本 織恵

鳥根県邑智郡邑智町生まれの松江育ち。女で「医者」をしちよつと、「優秀だねえ」と言われることが度々あるけど、私ばかりの劣等生です。医者になつたのも、高校時代の担任の先生に「お前は馬鹿だけん医学部に合格するわけがないだろ〜」って言われ、意地になつて医学部受けたつて感じ。要は負けず嫌いの劣等生ですかねえ。(笑)

塚本はズボラで男っぽいし掃除は下手だし 料理も下手だし(大学時代は寮食堂の食事・研修医時代はコンビニ弁当・隠岐病院勤務中は病院食を食べ続け、家でご飯を炊くのは年に三回くらい)。こんな塚本が中村で楽しく過ごせちよるのには、本当に周りの皆さんのお陰です。

私、塚本のある一週間をちょっとご紹介しますね。



女性4人で頑張っています 塚本医師(右から2番目)

月曜日：、毎週月曜日は他の曜日と比べ患者さんが多いんですよ。「ひえ〜、何分患者さんを待たせてしまつちよるんだろ〜」と、時計を見てハラハラしながら診察。(月曜日は、診療所の様子をみてからお出かけ頂けると有難いです)夜はたいいてい「水戸黄門」見て笑つちよつかな〜。



火曜日：、お魚をもらいました。魚をさばくなんて何年ぶりだろ〜と思いつつ、魚と悪戦苦闘!なんとか刺身らしい形になつてくれて一安心。見た目はどうあれ、おいしいおいしい。  
水曜日：、午後からは隠岐病院で大腸力メラ検査。夜は、「私もそろそろいい歳になつてきたことだし、幸せな結婚ってこういうのもいいかもしれんなあ」なあんて考えながら、某テレビドラマを見て涙。



木曜日：、午前中は隠岐病院で胃力メラ・胃透視検査。(基本健診を受けていない中村の皆さん、面倒臭がらずに年一回は胃と大腸の検査をしてくださいな〜)晩御飯、これまた頂いた卵で作ったオムライスを食べべちよつたら、なんとまあ月が明るいこと。蛍を見に銚子ダムまでドライブ!

金曜日：、予防接種。白衣を着ちよる私を見て、幼児たちが大泣きだあ。「ああ、今日もまた子供たちに嫌われてしまつた。〜」と少し悲しくなりました。よし、夜は友達と飲み会にすつか。

土曜日・日曜日：、土曜は焼き牡蠣会、二日酔いの頭を必死に起こして、苦手な掃除・洗濯。畑のトマトちゃんも赤くなつてきたぞ。おつそうだ、今週パチンコに行つちよらんじやないか、と思つて午後からパチンコ。ああ、バンドの練習もせねば。以上塚本の一週間でした。中村での生活を満喫しています。こんなズボラな私ですが、見かけたなら声を掛けてください。料理も教えて(作つて?)もらえるところうれしいです。

# この人知ってる？

知る人ぞ知る、「まめなかの」の命名者でもあり、初代編集長！



歌って 踊れる検査技師…  
さいとう やすし  
検査技師「齋藤 靖」の巻！

## 題名・、「私と隠岐病院、そして仮面ライダークウガ」

こんにちは。私は齋藤 靖です。現在検査室にて、臨床検査技師として働いています。

人は、良くも悪くも病氣と関わり、病院と関わります。私もその一人です。私がこの仕事に就いた理由は、小学一年生の時にネフローズという腎臓病にかかりその後十五年間、病院の入院を繰り返しました。「よし、医者になって悪い病氣をなおしてやる」と子供心に思ったのがきっかけでした。でも現実には厳しかったです。(笑)しかし、元

気に検査技師として隠岐病院に働くことができて本当によかったと思っています。

私が小学一年生の時（昭和四十四年）隠岐病院には小児科の医者はいなく、内科の山本貞寿先生が「小児の入院設備のある本土の病院に入院したほうがいいでしょう」というのを両親は「大人にする治療を加減して治療してもらえればいい」と内科病棟に入院していました。当事、隠岐―本土間は、フェリーで五時間かけて境に着き、渡しに乗って…。と、外国に行く程、とても遠いものでした。できるだけ、手元で（隠岐で）というの

が両親の思いだったのだと思います。結局病氣は回復に向かわず、松江市立病院に入院することになりました。一年生の私を一人松江の病院におけないと母は付き添ってくれました。私と母は松江、姉と父と祖父母は隠岐という生活が約二年間続きました。

退院後は、隠岐病院の小児科常勤医として嘉村智美先生（現在の嘉村医院院長）が、こられていて、その後は、嘉村先生にずっとお世話になりました。（先生、ごぶさたしています）。

本土の病院に行くしかなかった隠岐の医療状況から三十年余り、多くの方々のご努力で医師の確保を含めた隠岐病院の充実が図られてきました。何回も増改築が繰り返され、現在の病院の建物はどんどん狭くなり、新たな医療需要に因應することができなくなりました。また、老朽化も進み、病氣を治療する環境ではありません。近年強く、望まれるようになってきた。

の保護、院内感染などの医療安全の対策等々、現在どこの病院においても



当たり前になってきていることへの対応ができなくなってきました。そう、私が経験した医療格差が今またあるのではないのでしょうか？



そういつた隠岐病院の状況を憂い、島後の住民有志で結成された**隠岐病院の新築を実現する会**（旧称・隠岐の医療をよくする会）は、三月にはサンテラス前で、六月には、ピア前で隠岐病院の全面新築を求めるとして大々的な署名活動を展開されました。また地域においても先頭にたつたれ署名拡大の運動をしていただき、一万人を越す署名を集められたそうです。その数に病院で働く者として「がんばらなくてはいけません」と身の引き締まる思いがします。また、広域連合議会でも「きびしい財政状況の中ではあるが、早い時期に病院新築を骨子とした計画を立案すべき」と決議がなされたようです。二十〜三十年先の隠岐の医療に対し将来構想をもった整備、新病院建築を早く実現してほしいと思います。〽

アニメ・漫画大好き人間に育った私ですが、仮面ライダー一  
号・二号の時代は夢中でした。  
先日、仮面ライダーダークウガとい  
う最近の仮面ライダー(一番新  
しいのは、仮面ライダー龍騎な  
んだって)のビデオを見るきつ  
かけがあり、「仮面ライダーは今  
でも世界の平和のためにがんば  
っているんだろなー」と思いな  
がら見たら、なんと眼からウロ  
コ。世界の平和とか仰々しくな  
く、「笑顔を守るため」に戦って  
いました。病気でいろいろな人  
にお世話になり、「なにか世の中  
のために、人のために…」と思  
ってきた私はカルチャーショッ  
クに…。そんなに気張らなくて、  
肩張らなくていいんですよね。  
隠岐病院を新築移転しよう、  
愛する人の笑顔守るために！

…これでいいよね、かあちゃ  
ん。



### 院内施設の紹介

#### 喫煙所システムのご紹介

当病院館内が分煙になってから約半年が経ちました。外来患者様用の喫煙所(薬局前)は、玄関辺りまでタバコの煙が流れて行くこともあり迷惑をおかけしていましたが、今回同じ場所に患者様用の喫煙所をリニューアルし、煙の漏れない装置を取り付けられました。皆さんもうご覧になりましたか？



### 異動

#### 退職 (六月まで)

- \* 葛西 武司 (小児科医長)
- \* 安食 浩二 (診療放射線主任)
- \* 葛西 聡美 (臨時看護師)
- \* 藤野 弘美 (臨時看護助手)

#### 採用 (七月まで)

- \* 齋藤 恭子 (小児科医長)
- \* 竹谷 綾子 (臨時事務員)

□□□

#### お詫び

前号の「まめなかの第四十四号」にて、印刷ミスが一部にありました。誌面をお借りしてお詫び申し上げます



### あとがき

▼日韓共同開催で行われた、四年に一度のサッカーの祭典「ワールドカップ」、盛り上がりまじたよねー。サッカーファンならずとも興奮と歓声は、抑えられませんでした。日本戦のハーフタイムには、水道使用量が数倍にはね上がったそうです。(テレビ観戦している人が、同時にトイレに行くので)ともあれ、日本と韓国の関係がお祭りに終わらないことを願っています。▼気がつけば、梅雨の季節はそろそろ折り返し地点。待ちに待った夏休みのカウントダウン開始です。さあ、今年の夏は何をして過ごしますか？

### ボランティア活動

#### してみませんか

皆様方のほんの少しのお手伝いを募集しています。「こんなこと出来るよ！」など、皆様方からの情報等おまちしております。(電話またはFAXで)

総務課庶務係宛